

くつろぎサロン通信

2013年1月30日 第9号
発行 十和田市立中央病院内
がん患者と家族の会事務局

9月例会は美容トーク & アロマテラピーセミナーでした。
とても楽しい会になりました。



去る9月21日は美容ジャーナリスト：山崎多賀子氏とNPO法人キャンサーリボンス事務局：高島元子氏をお招きして「美容トーク & アロマテラピーセミナー」を開催しました。会員はじめ一般市民約30名が集まりました。山崎氏は2007年に発症した自らの乳がん闘病体験を明るく話してくださいました。抗がん剤治療がいかに体調を低空させ、顔の表情を落とし込んでしまうかを、スライドを使いながらリアルに表現し、そこからメイクやウィックでの変身の仕方を教えてくれました。顔を明るく健康的に、しかも自然な仕上がりを楽しむことでがん治療中（後）であっても「わたしってきれいじゃん！かっこいい！」って周囲の人達から言われたことで、元気になれたとの思いがどんどん伝わってきました。メイクの実践指導を受けるときは、最初しり込みしていた人達が沢山の化粧品を前にワイワイ賑やかにおしゃべりしながら「元気に見えるにはチークが大事！美人に見える眉のかき方はちゃんとマスターしなきゃ」とはしゃぎながらお互いを見直し笑顔が溢れていました。
(記：がん相談員 新谷明子)

10月の野外活動は稲生川ウォーキングに参加しました



10月6日の野外活動は“自分たちの住んでいる三本木原台地開墾・水路の歴史を学ぼう”と言うことで十和田市立新渡戸記念館ボランティア（共創郷土）主催の稲生川ウォーキングにくつろぎサロン会員7名が参加しました。当日は朝からすっきりしない曇り空でしたが全参加者は35名と定員以上に集まり、なんと遠くは東京からの参加者もあったと言うことで先人開拓者（新渡戸傳翁、十次郎親子）への関心の高さに驚きました。参加者全員リタイアせず最後まで歩くことができよかったです。

手打ちそば作りに参加して

会員 中市 春美

私が幼き頃から中学後期あたりまで、母が時折「そば」「はっとう」なる物を手作りして貧しき食生活を補ってくれていたことをなんとなく思い出しました。その当時母が継ぎ粉をしないで長い時間そば粉をこねていた覚えがあります。そのため煮込んだそばは途切れて短いものでした。その後市販品を食べるものの、二八そばには合えないでいました。そんななか坂下さんの手打ちそば作り講習に参加してとても懐かしく思えました。目の前で打ってくれたそばをごちそうになり、私にとっては母以来の五十余年目での出会いでもありました。おかげさまでそばもつゆもおいしくいただきました。（坂下さんありがとう）そばは自分の好物でもあるので、これから用具などを準備できたら実践してみたいと思っています。
(11月30日：坂下工房に於いて)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。くつろぎサロンは昨年5年目という節目の年を迎え6月から半年間に大・小のイベントを5つ開催いたしました。その他にも市の機関を交えた勉強会や協議会などへの参加、ケア帽子作製の推進など会員のためだけではなく一般市民にも活動を通していろいろなメッセージを発進することができました。今年も会員一同手を取り合い、支えあいながら活動していきたいと思っております。皆様今年もよろしくお願いたします。

くつろぎサロン事務局 高野 真弓